

# 文化七尾



第30号



新春の日の出 中島町瀬嵐（鰯浦）

## 年頭にあたって



七尾市文化協会

会長 武元 文平

新年あけましておめでとございます。

巳年は冬眠から地上に這い出した巳(蛇)が新たな生活に入るとの意で、因習的な生活から抜け出して、積極的、弾力的なものごとを推進していく年といわれています。

文化協会はいろんな部門や団体がそれぞれの活動に精進され、七尾の文化振興や文化によるまちおこし活動を進めております。今年もそれぞれの活動が、古い皮を脱ぎ捨てて、新しい発想や取り組み実践で、一段と成長発展する年でありますようにご祈念申し上げます。

文化協会の活動の輪をさらに広げ、市民の皆様と楽しい活動ができるよういろいろな取り組みをしてまいります。

七尾市の【市民のねがい】に「文化の薫るふるさとに豊かな未来夢ひらく」とうたわれております。市民の皆様には気軽に文化活動に参加され、日々の生活がこころ豊かで益々充実し、それぞれの夢が大きくふくらむ年になることを期待致します。

島山氏によって育まれた七尾の芸術、文化が長谷川等伯を生んだように、七尾の歴史や伝統文化を学び継承し、新しい伝統文化を創造していきたいものです。子どもから高齢者まで文化活動が益々活発になり、今年が発展飛躍の年になることを期待致します。

# 平成24年度 七尾市文化協会賞

### 【文化賞】



小山 浩二 さん

【所属】宝生流馬縹同門会  
昭和41年能登宝生会に入会し、長年同会の幹事長として、七尾市の能楽文化の普及振興を図り、後継者の育成に努め、その継承発展に寄与した。

### 【文化賞】



高田 敏枝 さん

【所属】宝生流馬縹同門会  
昭和34年に能楽宝生流謡曲入門、能登宝生会・馬縹同門会への入会を経て、昭和59年に能楽の教授嘱託免状を取得、翌年花宝会を設立主宰し、宝生流能楽の指導に尽力した。

### 【文化賞】



井上 修 さん

【所属】能登祥吟会 中島教場  
長年にわたり中島詩吟教場の責任者として、地域の詩吟の普及発展に貢献しながら、平成12年に準師範、平成18年には7段位となり、七尾市文化協会の理事としても市や町の文化活動の発展に尽力した。

### 【文化賞】



大窪 雪園 さん

【所属】石川一東書道会  
昭和45年に故津田雪州氏に書を師事して以来、研鑽を重ね書技の向上に努め、公民館などでも活動し、後進の育成や会の発展に尽力した。また自らの作品は多くの顕著な受賞歴を持つ。

### 【文化賞】



木本 香泉 さん

【所属】七尾美術作家協会  
書道家として地域のみならず全国的に活躍を続ける一方、七尾美術作家協会では常任理事、事務局長を歴任し、現在は会長代行として七尾市美術展覧会をはじめ、協会発展に力を注いでいる。

### 【文化賞】



大橋 覚 さん

【所属】能登あから山田鶴浜句会  
石川県代表的な俳句会である「能登あから山田鶴浜大句会」の初回からの取り組みに参画し、現在実行委員長として、会の充実発展につとめる等、俳句界に貢献している。

### 【文化賞】



川端 吉夫 さん

【所属】七尾まだら保存会  
「市の文化財を芸能の力量と磨きによって魅力化し内外に発信する」を信条とし、「まだら」を伴侶として60年、国立劇場で2回の大舞台を務める等、市内外に活動普及に尽力している。

### 【功労賞】



田鶴浜 陶芸 工房

【所属】代表 小谷内 和央  
昭和53年、田鶴浜に陶芸教室を開設以来、市民講座、婦人会、田鶴浜・高階・あから保育園など、多方面にわたり多くの人達に指導奔走している。一方、会員自らの技能向上により、多くの受賞を重ねている。



# 七尾市文化協会賞表彰式・新春の集い

## つないだ182人・心の絆

去る一月十二日(土)和倉温泉あえの風で、七尾市文化協会賞表彰式並びに新春の集いを、会員等百八十二名が一堂に集まり、新年の幕開けと一年の躍進を誓い合った。

はじめに、武元文平協会長が文化賞等功労者に賞状記念品を授与し、小山浩二受賞者代表が謝辞を述べた。

新春の集いでは、武元会長の式辞につづき、北村茂男衆議院議員、西田昭二石川県議会議員の二氏より祝辞。祝賀の曲に続いて、石川邦彦七尾市議会議長の乾杯の発声等、祝宴曲をまじえ、小田禎彦会長の中締めのもと、会全体の絆づくりが花咲いた。

協会四団体が格調高い祝宴曲、祝宴舞などで舞台を飾った。



厳粛かつ祝賀の意を表す馬縹同門会



若さいっぱいの決意セブンスコード



格調高く祝意を表す民謡扇の会



伝統の重みを背負い…七尾まだら保存会

栄えある受賞者の皆様



“心の絆”を作り上げた182人の輪



## 第41回 七尾市民音楽祭

—ふるさとの里山・里海—

開催日 平成25年 **3月3日** (日)  
 時間 開場 9時30分 開演 10時  
 場所 七尾サンライフプラザ 大ホール  
 入場料 500円

### 【出演団体】

琴城流大正琴 能登琴静支部・琴城流大正琴 なな華・城山民謡会  
 青柏民謡会・七尾民謡会・民謡 扇の会・日本剣詩舞道静山流  
 工口静蓉月社中・七尾太鼓打連盟・田鶴浜曳山木遣り太鼓保存会  
 吟道錦城流 七尾城山詩吟会・吟道城山流 吟詠会・正派若柳流 一柳会  
 七尾三曲会・七尾豊年太鼓保存会・七尾まだら愛好会・藤本流三味線  
 藤本秀美由社中・紅鶴会・鈴英会

主催：七尾市文化協会  
 共催：七尾市教育委員会  
 主管：七尾市文化協会音楽部門運営委員会  
 後援：北國新聞社・MFM金沢放送局・テレビ金沢・エフエム石川  
 ラジオかなざわ・ラジオななお



| 事業名  | 日時  | 主催者・会場名                                     | 内容   |
|--|---|---|--|
| 能登島ガラスコレクション<br>静と動 時を刻むガラス                            | 2012年12月1日(土)<br>～2013年4月14日(日)<br>9:00～16:30<br>※2013年4月から<br>開館時間<br>9:00～17:00 | 主催 (公財)能登島ガラス<br>美術館<br>会場 石川県能登島ガラス<br>美術館 | 当館の現代ガラスコレクションの中から「静」と「動」をテーマに<br>作品をセレクト。軟化したガラスと硬質なガラスによる対照的な造形<br>が織りなす美の世界を紹介する。<br>ヴェネチアのガラス彫刻や中国清朝のガラス工芸も展示。<br>入場料/800円(中学生以下無料 団体20名様以上 700円)<br>☎84-1175 石川県能登島ガラス美術館 |
| 展覧会「茶道具いろいろ<br>～池田コレクションを<br>中心に～」<br>「緑色のアート」         | 2月23日(土)<br>～4月7日(日)<br>9:00～17:00<br>(入館は16:30まで)                                | 主催 七尾市・公益財団法人<br>七尾美術館<br>会場 石川県七尾美術館       | 美術館所蔵品より「茶道具いろいろ～池田コレクションを中心に～」<br>「緑色のアート」の2テーマで、絵画や工芸など様々な作品を紹介。<br>入場料/一般350円(280円)・大高生280円(220円)・中学生以下無料<br>※( )内は20名以上の団体料金。<br>☎53-1500 石川県七尾美術館                         |
| 七尾茶道会 月釜   | 2月24日(日)<br>9:00～15:00  | 主催 七尾茶道会<br>会場 本龍寺(郡町)                      | 寒さひとしおのこの頃でございます。この度、初春を迎え薄茶一服差し<br>上げたくご案内申し上げます。足元の悪い折でございますが、皆様のお出<br>でをお待ち致しております。<br>茶会料/1,500円 ☎57-1377 宮森宗紅   |
| 福島の子ども達へ<br>～私たちができること～<br>劇団風の子東北による<br>舞台劇「ぶたぶたとんだ!」 | 3月1日(金)<br>19:00～20:00  | 主催 七尾子ども劇場<br>会場 七尾サンライフプラザ<br>24会議室        | 東日本大震災で被災した子ども達のためのチャリティー公演。これらの<br>収益はすべて劇団を通して被災地の子ども達のために使っていただきます。<br>入場料/大人・小人500円 ※4歳以上500円。<br>☎52-0821 (☎10時～15時) 七尾子ども劇場  |
| 本咲き雪割草銘品展  | 3月2日(土)<br>～3月3日(日)<br>9:00～17:00   | 主催 七尾山草会<br>会場 能登食祭市場<br>(2階研修室)            | ひとあし早い春をお届けします。<br>会員が愛培した雪国の華やかで美しい花、雪割草の展示。<br>併設・苗の販売コーナーも有ります。<br>入場料/無料 ☎57-2023 垣内フラワー(七尾市白馬町)   |
| 第179回(合同例会)<br>ずっこけ狂言ばなし<br>「どろピカぼん」                   | 3月9日(土)<br>19:00～20:00<br>(開場 18:45～)   | 主催 七尾子ども劇場<br>会場 七尾市田鶴浜農村環境<br>改善センター       | 笑いがとまらない程、楽しい子ども向け狂言です。<br>民俗芸能アンサンブルの「ずっこけ狂言ばなし～どろピカぼん～」を親子で<br>観劇。<br>会員制(当日入会可)<br>☎52-0821(☎10時～15時) 七尾子ども劇場   |
| 七尾茶道会 月釜   | 3月17日(日)<br>9:00～14:00  | 主催 七尾茶道会<br>会場 本龍寺(郡町)                      | のどかな春のひととき一服いかがでしょうか。<br>初めて土曜グループでさせていただきます。<br>どうぞお気軽にお越し下さい。お待ちしております。<br>茶会料/1,500円 ☎52-3875 三室宗恵  |
| 第104回例会<br>檜の木坂四姉妹                                     | 4月9日(火)<br>18:30～21:10<br>(開場は18:00から)  | 主催 七尾演劇鑑賞会<br>会場 七尾サンライフプラザ<br>大ホール         | 劇団俳優座を代表する、大塚道子、岩崎加根子、川口敦子の初競演が姉<br>妹役で実現した。<br>被爆者である三人の日常を撮り続けてきたカメラマン洲崎は、ある日部屋<br>のピアノについて尋ねる。それは「ゆめ」が双子の姉である「まり」の供養の<br>ために購入したものだった。<br>会員制 ☎52-0834 七尾演劇鑑賞会              |

## 池田家名園 侘寂の露地(一)

我が文化協会事務局には池田家の大庭園があります。  
協会関係者以外にはあまり市民に知られていないかもし  
れませんが、その実、侘・寂を重んじた茶室の名庭園です。  
本誌では、今回以降、シリーズでこの庭園の一端を紹介  
していきたいと思本欄を設けました。

### 「結界に佇む石人と万病の妙薬」

庭を警護する番人のように立っている石像、それが石人  
です。  
守護と悪鬼駆除を目的とし、外部から悪い霊が侵入する  
のを防いでいる池田家の守護神なのです。  
古来、石人の鼻を擦り蒸じて飲むことが結核をはじめ、  
万病に効くと伝えられていた為、人々に万病の妙薬として  
愛でられました。



発行 七尾市文化協会

〒926-0021  
七尾市本府中町モ64池田家内  
TEL 53-0596 FAX 54-8550  
Eメール: mail@bunka-nanao.jp  
ホームページ: http://www.bunka-nanao.jp

編集委員: 杉藤茂 鴻野俊雄 細川一絵 寺口啓作 家村静江  
発行日 2013年2月5日

会員のみなさまへ

※「文化七尾」次回31号は平成25年4月5日発行となります。  
原稿締切は、平成25年3月15日です。

表紙: 昔、熊甲と藤津比古の神様が海を渡ってこの地に上陸。二人の神様が弓の  
矢を放ち、落ちたところにお宮をたてられた。「中島町史抜粋」

表紙題字: 清水 聖鵬 表紙撮影: 間蔵 俊甫